

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浅羽 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(総務部経理部担当) (氏名) 上野 章
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

TEL 03-3258-1412

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	23,651		701		714		346	
20年3月期第2四半期	22,243	8.0	774	7.2	809	11.8	518	20.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	22.01	
20年3月期第2四半期	32.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	26,853	10,015	35.2	601.15
20年3月期	28,084	10,233	34.3	613.09

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 9,452百万円 20年3月期 9,641百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				11.00	11.00
21年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,200	5.3	1,200	32.9	1,170	32.9	550	39.4	34.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 社(社名)) 除外 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

〔(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	15,758,994株	20年3月期	15,758,994株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	34,749株	20年3月期	33,570株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	15,724,854株	20年3月期第2四半期	15,727,923株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の世界的高騰に歯止めがかかるも、米国発の金融危機が世界の实体经济に波及するなか、外需の低迷が内需の足を引っ張る形で景気の停滞感が強まる展開となっております。

当業界におきましては、主要ユーザーである自動車業界が米国市場の低迷等により、需要が減少しており、今後更なる環境の悪化が懸念される状況です。

こうしたなか当社グループでは、引き続き拡販に努めるとともにコスト削減、生産性向上に取り組んでまいりましたが、原材料価格の高騰が続くなかで価格競争も激しく、収益面では大変厳しい状況が続いております。このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は23,651百万円となり、経常利益は714百万円、四半期純利益は346百万円となりました。

当社グループ主要部門の営業の概況は次のとおりであります。

(樹脂コンパウンド部門)

当部門においては、主要ユーザーの海外展開に伴う国内需要の伸び悩みが続くなか、競争の激化から、価格面では引き続き厳しい環境にあります。こうしたなか、国内においては、情報機器関連が比較的堅調であったものの、自動車関連、家電向けは夏場以降低調な展開となっております。一方、海外では、東南アジアが引き続き堅調を維持しております。このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,306百万円となりました。

(樹脂用着色剤部門)

当部門においては、自動車関連、家電、日用品および化粧品向けの拡販により概ね堅調でしたが、一部の情報機器関連が当初の予想を大きく下回る結果となりました。また、価格転嫁に努めたものの、原材料価格の高騰が続く、収益面では引き続き厳しい状況となりました。このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,883百万円となりました。

(加工カラー部門)

当部門は、既に市場自体が成熟しており、今後の高い成長が望めなくなっております。こうしたなか、建材関係向けの販売不振などにより、引き続き厳しい事業環境となっております。また、原材料価格の高騰も大きく収益面を圧迫しております。このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,378百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末と比べ1,231百万円減少して26,853百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が524百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前期末と比べ1,013百万円減少して16,838百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が493百万円、借入金など有利子負債が502百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

純資産は、前期末と比べ217百万円減少して10,015百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が224百万円減少したことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗などを勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月16日に公表しました平成21年3月期の連結・個別の業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、本日(平成20年11月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績には今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒引当率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ82,500千円減少しております。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,160,356	2,128,992
受取手形及び売掛金	8,059,275	8,583,831
製品	1,725,985	1,918,569
原材料	1,480,364	1,685,453
貯蔵品	40,860	31,292
その他	679,320	375,211
貸倒引当金	7,419	6,904
流動資産合計	14,138,742	14,716,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,112,080	4,274,804
土地	3,521,705	3,530,615
その他	2,012,480	2,044,701
有形固定資産合計	9,646,266	9,850,121
無形固定資産		
	49,362	47,169
投資その他の資産		
投資有価証券	2,640,959	3,069,532
その他	458,067	485,419
貸倒引当金	79,584	83,855
投資その他の資産合計	3,019,441	3,471,097
固定資産合計	12,715,070	13,368,387
資産合計	26,853,813	28,084,834

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,071,523	7,565,407
短期借入金	4,118,825	4,002,866
未払法人税等	504,063	301,587
賞与引当金	286,210	266,385
その他	1,277,265	1,364,458
流動負債合計	13,257,889	13,500,705
固定負債		
社債	294,880	337,440
長期借入金	2,400,882	3,019,706
繰延税金負債	704,381	825,895
役員退職慰労引当金	179,987	167,471
固定負債合計	3,580,130	4,350,512
負債合計	16,838,019	17,851,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,770	1,047,779
利益剰余金	6,975,864	6,815,062
自己株式	12,455	12,158
株主資本合計	9,492,340	9,331,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	429,537	554,434
為替換算調整勘定	469,234	245,060
評価・換算差額等合計	39,696	309,373
少数株主持分	563,150	592,399
純資産合計	10,015,794	10,233,616
負債純資産合計	26,853,813	28,084,834

(2)【四半期連結損益計算書】

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	23,651,299
売上原価	21,429,687
売上総利益	2,221,612
販売費及び一般管理費	
人件費	579,701
賞与引当金繰入額	86,631
退職給付費用	21,960
役員退職慰労引当金繰入額	12,516
その他	819,657
販売費及び一般管理費合計	1,520,466
営業利益	701,145
営業外収益	
受取利息	4,370
受取配当金	30,104
持分法による投資利益	36,492
スクラップ売却代金	24,306
その他	46,776
営業外収益合計	142,050
営業外費用	
支払利息	80,437
その他	48,479
営業外費用合計	128,916
経常利益	714,279
特別利益	
固定資産売却益	5,229
貸倒引当金戻入額	3,755
特別利益合計	8,984
特別損失	
固定資産除売却損	13,366
投資有価証券評価損	56,981
関係会社株式売却損	34,110
特別損失合計	104,458
税金等調整前四半期純利益	618,805
法人税、住民税及び事業税	322,198
法人税等調整額	59,012
法人税等合計	263,186
少数株主利益	9,474
四半期純利益	346,144

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	618,805
減価償却費	507,073
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,755
退職給付引当金の増減額(は減少)	41,925
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,516
賞与引当金の増減額(は減少)	19,824
受取利息及び受取配当金	34,474
支払利息	80,437
関係会社株式売却損益(は益)	34,110
投資有価証券評価損益(は益)	56,981
持分法による投資損益(は益)	36,492
有形固定資産除売却損益(は益)	8,137
売上債権の増減額(は増加)	507,920
たな卸資産の増減額(は増加)	375,585
仕入債務の増減額(は減少)	476,627
未払消費税等の増減額(は減少)	69,662
その他	535,129
小計	1,246,500
利息及び配当金の受取額	34,474
利息の支払額	79,656
法人税等の支払額	227,041
営業活動によるキャッシュ・フロー	974,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	333,500
定期預金の払戻による収入	349,500
投資有価証券の取得による支出	4,630
関係会社株式の売却による収入	54,751
有形固定資産の取得による支出	301,243
有形固定資産の売却による収入	5,519
無形固定資産の取得による支出	12,971
貸付けによる支出	2,650
貸付金の回収による収入	9,929
その他	13,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	249,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	924,623
短期借入金の返済による支出	625,785
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	948,174
自己株式の取得による支出	363
自己株式の売却による収入	66
配当金の支払額	172,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	672,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,044
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	47,363
現金及び現金同等物の期首残高	1,495,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,656

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4)継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

前第2四半期にかかる財務諸表等

(1)(要約)中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
売上高	22,243,317
売上原価	19,861,253
売上総利益	2,382,064
販売費及び一般管理費	1,607,684
営業利益	774,379
営業外収益	164,648
営業外費用	129,499
経常利益	809,528
特別利益	10,673
特別損失	5,356
税金等調整前中間純利益	814,845
法人税、住民税及び事業税	249,819
法人税等調整額	52,164
少数株主損益(増)	5,227
中間純利益	518,089